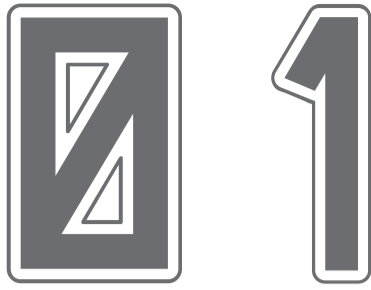


探究する





BEING ALIVE

月寒高校の総合的な探究の時間

新たな可能性を生み出す次代をつくる

探究学習プロジェクト BEING ALIVE

本プロジェクトは「いま高校生に必要な学びとは何か」を追究します。現代は、課題の時代です。パンデミック、戦争・テロ、格差と貧困、環境破壊、利己主義、生きづらさ……。これらの課題に対して、医療、健康、福祉、国際協力、過度な競争、エコ、エンカル、倫理、働く幸せ、寛容な社会など、扱うべきテーマ・領域は幅広くあります。

しかしながら、「いま高校生に必要な学びとは何か」あるいは「扱うべきテーマとは何か」には正しい答えがありません。でも一方で、生徒に学習環境を提供する立場から、少しでも「その答えに近づきたい」といった想いがあります。そういった想いから私たちは、多くの専門家・研究者から話を聴いて本プロジェクトをデザインしています。



本プロジェクトにパートナーとして参加していただいているのは、北海道大学をはじめとする大学の先生、OECDなどの国際機関や国立機関の研究者、北海道庁など自治体で活躍されている実務家、日立製作所など企業やNPOの実践家、クリエイティブな活動をされているアーティスト、東京大学や北海道大学で学ぶ大学院生・学部生など、合わせると約50名。そういった多様な方々との対話を通じて、「いま高校生に必要な学びとは何か」や「扱うべきテーマとは何か」を生徒たち自身が発見していきます。

まだ出会っていない世界はとてつもなく広い自由に走り回しましょう！



新たな可能性を生み出す次代をつくる

Hello new era

新たなビジョンは心の目を開くことで見えてきます。心の目で自分と世界をとらえ、可能性に踏み出してみよう！まだ見ぬ隠れた可能性を引き出し解放するために自分と世界に働きかけてみよう！

We are the leaders!

新たな社会をつくる

Hello new world

新たな北海道のデザイン

Hello new Hokkaido

新たな私と出会う

Hello new me

北海道札幌月寒高等学校 探究学習プロジェクト 2023

BEING ALIVE I



「本気」の進路探究へ

BEING ALIVE II 自分で意思決定する自由に「気づく」

BEING ALIVE I 未知のテーマ・領域に「触れる」

S1
健康なカラダとココロ
充実した人生を送るために

国立成育医療研究センター
母性内科医師 三戸麻子氏

S2
最適な学習環境とは
学びのユニバーサルデザイン

北海道教育大学教職大学院
川俣智路氏
E2030FG2C 教職課程大学生チーム*
(東京学芸大学ほか)

S3
障がい者と健常者が一緒に楽しむ
新しいスポーツをつくる

北海道アダプティブスポーツ
齊藤雄大氏
OECD Project Infinity*
北海道大学 COI-NEXT 東京学芸大学

S4
ChatGPT は社会を変える
AI と共存する社会を考える

北海道大学大学院情報科学研究科
横山想一郎氏
(北海道大学大学院 院生)

H1
環境リテラシーを高める
さっぽろエコ土産プロジェクト

一般社団法人 SWITCH
佐座植苗氏

H2
ゼロカーボン北海道の実現
地域の特徴・魅力・課題

北海道経済部ゼロカーボン推進局
大越晃希氏
北海道地球温暖化防止対策推進員
村田拓真氏

H3
美味しく食べる予防医療と
医療の個別化がもたらす未来

北海道大病院
パーソナルヘルスセンター 副部长
西田 睦氏

H4
数理モデルでまちを変える
数学が役に立って
どうということ？

日立製作所・日立北大ラボ
中村宝弘氏

W1
アートを感じてみよう
私の見たいもの聴きたいもの

グラフィックデザイナー 渡辺光陽氏
シンガーソングライター naia*mao 氏

W2
私と世界中のクラスメートが
大切にしたいことを
ショートフィルムで表現しよう

OECD シニア政策アナリスト*
田熊美保氏
北海道情報大学情報メディア学部
札幌国際短編映画祭フェスティバル・
ディレクター 島田英二氏

W3
アイデアをカタチにしてみよう
起業家マインドが
私の可能性を拓ける

北海道大学産学・地域協働推進機構
スタートアップ創出本部
アントレプレナー教育部門
杉村逸郎氏 椎名希美氏
白石瑛人氏 岩城圭司氏

W4
身体活動量をアップデート
その必要性とは

北海道大学大学院医学研究科
玉腰咲子氏・他 教員
(北海道大学大学院 院生)

* 日本 OECD 共同研究の一環として協力

「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けて

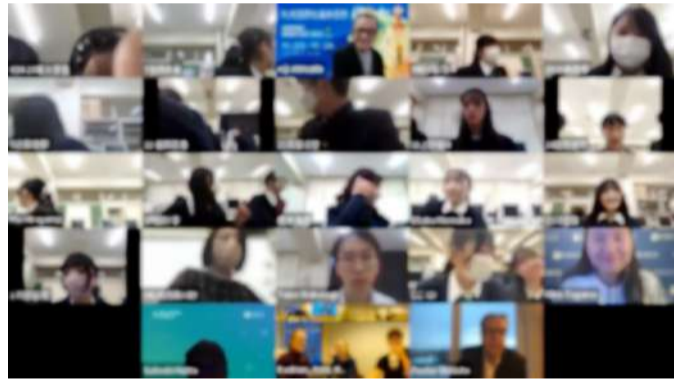
BEING ALIVE I

第1学年 総合的な探究の時間

エストニアとの海外交流授業

「W2 私と世界中のクラスメートが大切にしたいことをショートフィルムで表現しよう」のグループ探究において、エストニアの高校と授業を行いました。国内・海外を問わず、オンラインであれば「同じクラスメートとして授業を受けることができ、また友だちにもなることができる」との考え方から実施することとなりました。

「4コマビジュアライズでパートナーにプレゼンしてみよう！」をテーマに、自分が考える Well-being を表現する活動を行いました。この活動を通じて、生徒同士で対話を進めることによって、主体的、対話的で深い学びの実現を図り、成果発表会までの探究プロセスの質を向上させることができました。



実施日 令和5年11月29日（水） 7校時
 場所 本校 コンピュータ教室
 対象生徒および参加者

W2の講座に参加している 生徒27名、担当教諭2名
 Pelgulinna Gymnasium（エストニア）

パートナー OECD シニア政策アナリスト 田熊美保氏

北海道情報大学情報メディア学部 島田英二氏

協力 東京学芸大学（オンラインホスト、言語サポート）

BEING ALIVE II

第2学年 総合的な探究の時間

メンター・セッション

学問分野で分けられている各ゼミの個人探究について、外部パートナーが生徒に助言する「メンター・セッション」を3日間にわたり実施しました。パートナーである専門家・研究者から気になる探究テーマをピックアップしていただいたり、生徒からの質問を受け付けるなどした上で対話を進めました。

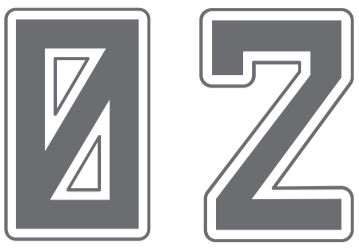
実施日 令和5年11月8日（水）、22日（水）、30日（木） 7校時
 「メンター・セッション」でご指導いただいた
 パートナーの皆さま



- 【社会】坂本建一郎氏 時事通信出版局 出版事業部長
- 【人文】伊井義人氏 大阪公立大学大学院 文学研究科
- 【心理】伊田勝憲氏 立命館大学 教職研究科
- 【国際】高雄綾子氏 フェリス女学院大学 国際交流学部
- 【デザイン・建築】金子晋也氏 札幌市立大学 デザイン学部

- 【生物】池田貴子氏 北海道大学大学院 教育推進機構
- 【生物】杉村逸郎氏 北海道大学 産学・地域協働推進機構
- 【工学】内田 努氏 北海道大学大学院 工学研究院
- 【医療】木村尚史氏 北海道大学大学院 医学研究院
- 【医療】黒鳥偉作氏 北海道大学大学院 医学研究院
- 【スポーツ】右代啓祐氏 国士館大学 講師 国士館クラブ所属 陸上十種競技

陸上十種競技



北海道大学との連携特別講座

『妊娠と分娩』

令和5年12月12日（火）月寒高校にて、北海道大学との特別講座『妊娠と分娩』を実施しました。北海道大学病院産科玉城良氏、馬詰武氏を迎え、シミュレーターを用いた実践的な学びを体験しました。

講義開始



妊娠検査薬に触れてみよう



NHKの動画視聴 妊娠について講義



分娩シミュレーターを使用して赤ちゃんを取り上げてみよう



帝王切開シミュレーター



3Dプリンターで作成した胎児モデル

